

1. 内外政

- ・22日、自由民主党、民主党及び自由党が閣僚ポストの分配に関し合意し、23日、同3党が新与党連合結成合意文書に本署名を実施。
- ・27日、ティモフティ大統領がヴァレリウ・ストレレツ自由民主党副党首（議会副会派長）を新首相候補として指名する大統領令に署名。
- ・30日、ストレレツ首相候補による閣僚名簿が議会過半数（101議席中52議席）の賛成を得て承認され組閣が行われた。承認された新閣僚は以下のとおり。
 - ーヴァレリウ・ストレレツ首相（新任、自由民主党）
 - ーヴィクトル・オシポフ副首相（再統合担当）（留任、民主党）
 - ーステファン・クリストフ・ブリデ副首相兼経済相（留任、民主党）
 - ーナタリア・ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相（留任、自由民主党）
 - ーゲオルゲ・ブレガ副首相（社会問題担当）（新任、自由党）
 - ーアナトール・アラブ財務相（留任、自由民主党）
 - ーイオン・スラ農業・食品産業相（留任、自由民主党）
 - ーオレグ・バラン内相（留任、自由民主党）
 - ーモニカ・バブク文化相（留任、民主党）
 - ーパヴェル・フィリプIT・通信相（留任、民主党）
 - ーヴァシレ・プトカ地域発展・建設相（留任、民主党）
 - ーヴラディミール・チェボタリ司法相（新任、民主党）
 - ーミルチャ・プガ労働・社会保障・家族相（新任、自由民主党）
 - ーロレッタ・ハンドラブラ青年・スポーツ相（新任、自由民主党）
 - ールクサンダ・グラヴァン保健相（新任、民主党）
 - ーヴァレリウ・ムンチャス環境相（新任、自由党）
 - ーユリエ・キリンチュク運輸・交通インフラ相（新任、自由党）
 - ーコリナ・フス教育相（新任、自由党）
 - ーアナトール・シャル国防相（新任、自由党）

2. 経済

▼マクロ経済

- ・30日、モルドバ中央銀行は、政策金利を年15.5%から17.5%まで引き上げるとともに、レイ建ての預金準備率を3

2%に引き上げ。これは、天然ガス及び電気料金の引き上げ後のインフレーションの進行を抑制するため。

▼天然ガス関連

- ・18日、国家エネルギー規制庁は、最終消費者に対する天然ガス及び電気料金を値上げ。具体的には、モルドバガス社によって供給される天然ガスの価格を15.4%値上げし、電気代については、「Gaz Union Fenosa Furnizare Energie」の管轄する地域で36%、「RED Nord」社及び「RED Nord Vest」社が管轄する地域で30%の値上げ。
- ・31日、経済省の発表によれば、モルドバが第3四半期にロシアから輸入する天然ガスの価格は210.21ドル／千立米であり、第2四半期の価格よりも17%（42ドル）値下げ。モルドバガス社のデータによると、上記価格はここ5年間で最も低い水準。

▼対モルドバ支援

- ・7日、タビオラEU代表部大使は、モルドバが、IMFとの新たな資金援助の合意のための交渉が可能であり、銀行部門の危機を解決できるような新内閣を設立するまで、資金援助を凍結すると発言。アラブ財務相によれば、EUは、2015年、モルドバに対し、司法システム改革等の分野で4,070万ユーロの支援を実施。
- ・30日、バシユカニ村において、平成24年度対モルドバ無償資金協力「バイオマス燃料有効活用計画」の引渡式及び貧困農民支援（2KR）の15周年を祝う式典が開催され、ティモフティ大統領及び角駐モルドバ日本大使が出席。

3. 防衛

▼多国間軍事演習「ジョイント・エフォート 2015」

- ・13日、国防省は、7月12日から25日までの間、バルツィ近郊の軍事訓練場において、多国間軍事演習「ジョイント・エフォート2015」が実施されている旨発表。本演習には、アメリカ、モルドバ、ポーランド、ジョージア及びルーマニアの軍人が参加している。

※本月報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)